

どこでも内線がとれるんです！



～テレワーク推進の工夫～

①

テレワークを導入したんだけど、取引先との連絡のやり取りで一つ問題が生じてね。

問題とはどのようなものでしょうか。

制度自体は非常に評判が良いんだけど

②

問題なのは主に営業職のテレワーク勤務なんだ。仕事上、どうしても取引先から会社に問い合わせがあったりするんだけど、当然、社内にはいないから、その電話を切っただけで、テレワーク勤務中の担当営業から後で折り返しをさせているんだ。勤務時間中なのにすぐに取り次げないのはちょっとなあ。

なんとかうまく取り次げないだろうか

③

それでしたら、スマートフォンを内線端末として利用できるシステムを導入してはどうでしょうか。そのシステムにより、仮に取引先から会社に問い合わせがあっても、外出中の従業員のスマートフォンに内線番号で転送できますので、テレワーク中の電話取次が実現しますよ！

それはすごい！

担当者の電話番号を探す必要はありません

④

内線機能とスマートフォンの連携システムを導入したところ、いつも使っている内線番号で社内、社外とのやり取りが可能となり、オフィスと変わらない環境で業務が行えるようになりました。テレワーク利用促進につながり、従業員満足度も向上しています。

取引先にも迷惑をかけない！

テレワーク利用促進により、ワークライフバランス推進！

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「テレワーク導入★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：卸売業 従業員数：70名

テレワークを導入したいが、テレワーク勤務を営業職に導入した場合、取引先からの問い合わせが会社になされても、担当営業職に電話を直接取り次ぐことができないため、機動力に欠けることが問題となっていた。

＜内線機能とスマートフォンの連携システムによるテレワークの導入※＞

- 取引先から会社への電話を外出中の従業員に転送可能。
- 内線番号だけでオフィスと外出先・自宅のやり取りが可能。
- スマートフォンから取引先等に電話を行う場合であっても、システムを経由することで、会社の代表電話からの電話とすることが可能。

【テレワーク導入のための設備導入※費用に助成！】

○時間外労働等改善助成金（テレワークコース）

助成率 最大 75% 上限額 最大 150万円

◆助成金には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。



- ・内線電話の利用範囲が拡大されたことで、外出先からでも取次不要でタイムリーにコミュニケーションが取れるので、モバイルワークを促進、在宅勤務の利便性も向上し、テレワーク利用促進につながった。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com